

プレキャスト工法の 活用(その7)

プレキャスト部材は橋梁以外にも様々な構造物で採用されています。今号ではシェッド・シェルターとPC桟橋について紹介します。

● シェッド・シェルター

落石・雪崩・吹雪による吹き溜まりから道路を通行する人や車両を守るために設置される構造物は、「シェッド」や「シェルター」と呼ばれます。シェッドには、落石から守るための「ロックシェッド」、雪崩から守るための「スノーシェッド」があり、吹雪による吹き溜まりから守るための構造物は「スノーシェルター」と呼ばれます。これらの製品は、いずれも工場でプレキャスト部材として製作されます。プレキャスト部材を現場に運搬し、クレーンによって組み立てるため、現地での施工期間が短縮され、交通規制も最小限に抑えることができます。



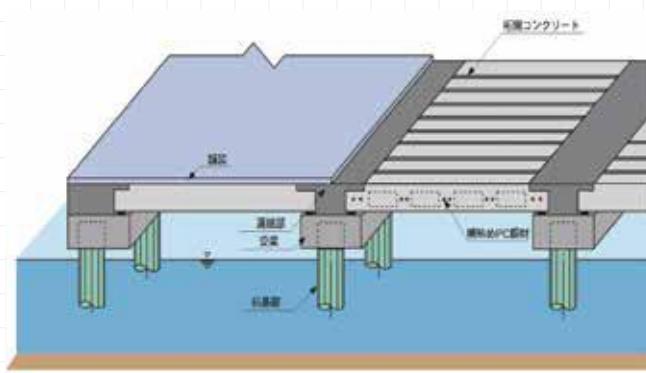
▲ ロックシェッド



▲ スノーシェルター

● PC桟橋

PC桟橋は、船舶が係留・荷役を行うための桟橋やコンテナ桟橋、さらには耐震強化岸壁にも適用されています。桟橋に使用される部材にはプレキャスト部材が用いられており、プレストレスを導入することでひび割れの発生を抑制し、厳しい海洋環境下でも優れた耐久性を有しています。また、プレキャスト部材を使用し支保工作業が不要となるため、海上での施工を大幅に短縮できます。



▲ PC 桟橋の一般形状



▲ PC 桟橋